



1年間のしめくくり

【校長 太田 謙二】

少しずつ日差しが暖かくなって、春めいてきた気がします。今月末には、桜が開花するという予報も発表されています。早いもので令和3年度もこの3月を残すだけとなりました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症のため、様々な教育活動が制限される中でしたが、なんとか教育活動を行うことができました。本当に子供たちは、このような中、よくがんばって成長してくれたと思います。

今月3日には、在校生が卒業する6年生に、感謝とお祝いの気持ちを伝える「卒業生を送る会」を開催する予定です。

1年生から6年生まで一堂に会してという形ではありませんが、工夫しながら、各学年ごとに、それぞれ思いや願いを伝えようと発表の準備を進めてくれています。私は、毎年この送る会の様子を見て、子供たちの成長を実感し、うるっときてしまいます。



さて、新型コロナウイルス感染症についてですが、オミクロン株の影響で、全国的に感染が続いており、和歌山県には、今のところ、まん延防止重点措置が6日まで適用されることになっています。感染のピークは過ぎた感じですが、まだまだ油断できない状況です。学校では、引き続き感染症対策を徹底して、教育活動を行っていきたいと考えます。お家の方でも、健康観察等、どうぞよろしくお願いいたします。

6年生は、卒業式を入れて、学校へ来る日があと14日。卒業までの残りの小学校生活を一日一日大切に、いい思い出をたくさん残して、中学校へ進学して欲しいと思います。また、在校生は、残りあと16日です。1年間のまとめとして、学習や生活を振り返り、進級への意欲を高めて、次の学年につなげて欲しいと思います。



この1年間、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。この3月をいい形で締めくくり、そして、新しい年度にいい形でつながられるよう、教職員一同力を合わせてがんばって参ります。保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。